



# 子どもの貧困を考える ネットワークニュース

2025年04月号

隔月発行  
発行:子どもの貧困問題  
大阪ネットワーク理事会

## ボランティアで体験 吹田・こども食堂ルンルン

桜もいよいよ本番か、という4月5日、吹田市幸町の地域コミュニティスペースで月に1回行われている、という子ども食堂「ルンルン」を訪問した。スタッフを含め当日の参加者は130名になると聞いていたことや、地域が吹田市の旧市街地であること、そして何よりかつての新任赴任校の校区だったことが私に興味を抱かせた。

こども食堂ルンルン 2025年度予定		
開催日	献立	遊び
4月5日(土)	パン ハンバーグ シーチキンサラダ スープ	折り紙 めり絵 お点前
5月10日(土)	牛丼 みそ汁 きゅうりもみ	バルーンアート
6月7日(土)	ハヤシライス ハムサラダ ゼリー	花しおり



この「コミュニティスペース」とは、廃園された東幼稚園が備蓄倉庫となった場所を、日常的に地域が活用しているもの。多くの利用団体名が月間ボードにひしめき合っている。ちなみに1年前から希望を出せるので、向こう1年分の予定がわかり、子どももスタッフも助かっているそうだ。

この日の流れは次のとおり。10:00 スタッフ打ち合わせの後、各担当で準備、調理開始。11:00頃になると、子どもたち三々五々やってくる。親子で、子どもらだけで等さまざま。受付・検温を済ませたら、11:45までの間1Fの部屋と園庭で遊びの時間。準備ができたから2階に上がり食事スタート。後から来た子たちも数人ずつ上にあがる。スタッフもバトンタッチしながら順次食べる。食事が終わり14:00になったら「さようなら」「次は5/10だよ」。片付け、ミーティングを済ませて15:00終了。

- ◎受付の対応が暖かかった。「〇〇ちゃん、今日はママ忙しいからおばあちゃんと来たのね」「〇〇君は子どもだけの申し込みやけど、来てないし電話するよ」スタッフと家族の繋がりが伝わってきた。
- ◎カード、オセロなどのボードゲーム、めり絵、折り紙、けん玉、パドミントン、大縄など遊具の準備もすごいが、多くのスタッフが一緒に入り込んでいるのに驚いた。むろん炊事場での力にもなっている。
- ◎スタッフには地域の方々に加え、ホンダモビリティ労組や大和大学などからボランティアで何人も来られていた。地元の企業や個人から食材・カンパが寄せられ、地域の強さを感じた。
- ◎子どもの数が増える中、新たな課題も。終了後の反省会では、〇おかわりのこと〇前半後半の交代制の意見〇雨などで園庭が使えないときどうする〇ボール使用など子どものニーズに応えるべきでは等。

### 【子どもらの声】

- ◎毎回ここ来てるの？昼ご飯代浮くね？「うん。(ニッコリ)」親と来たの？  
「いや、近所の1年生の子と」学校楽しい？「ふっう」・・・新6年女子
- ◎お抹茶を子どもたちにもぜひと、お点前コーナーを設ける。出てきた低学年の子たちに、  
お菓子が出たんやね？「うん、おいしかった」お茶はおいしかった？「・・・」  
返事なしでした

子どもたちや保護者の方がゆったり過ごしている姿を見て、私までが心を洗えた気がした。(中家工)





25年2月23日開催の第9回総会では、25人の会員参加の上、活動まとめ・次年度方針の確認、決算・予算の確認、次年度の役員体制など、全ての議案が承認されました。

本号では、戸井副理事長の閉会挨拶と会場発言などをお知らせします。新年度も、理事会一同、皆さまのご支援にお応えするべく奮闘致します。ご支援よろしく願います。はじめに、最近の医療問題にふれられた戸井副理事長の閉会の挨拶をレポートします。



## 閉会挨拶 副理事長戸井逸美

子どもの貧困問題大阪ネットワークは、2016年9月24日に結成されました。私の所属します歯科保険医協会は、設立当初から関わっており、私は今回の総会で副理事長の任につきました。

さて、中田理事長の挨拶にもありましたように、昨今、子どものいる世帯での所得格差が広がっております。大阪府・市では、全国と比較して生活保護世帯の数が全国の2倍・3倍多いという報告もあります。家計に占める食費の割合も高く、エンゲル係数が3割を超える…という報道もあります。いま、日本全体が貧困にすすんでいる状況にあることは間違いありません。この会の活動が、今後一層重要さが増えています。引き続き、学習・行動の取り組みを強めていきたいと思えます。

本総会では、第二部で明石市の畔上裕子さんから支援相談員の立場から、自治体の支援の現状をご紹介いただきました。私たちの会は、現場の視点を重視し、多彩な分野の意見を集めて活動しています。今日の学習も、今後の活動の糧になる非常に有益なお話だったと感じています。改めて、畔上さんにお礼申し上げます。ありがとうございました。

今国会では、高額医療費制度の窓口負担の引き上げが議論されています。政府の当初案に対し、患者会がすぐにアンケートをとり、患者の声を政府にたたきつけました。その後、政府は修正案を出しましたが、長期治療に関わるどころだけ見直したもので、8割の患者さんの負担増は変わりません。高額医療費制度の政府見直しは、全面白紙撤回しかありません。

保健証廃止も、窓口負担の引き上げも、患者の医療へのアクセス権を奪うものであり、憲法違反だと言えるでしょう。政府は、昨年、薬の一部負担金も重くし、すでに保険で認められている薬を医療から保険外しをすることも行っています。安全性の確認された医療は、保険で誰もが利用できるようなべきです。

今年7月に予定されている参議院選挙では、どの子にも美味しい給食を無償で食べられ、お金の心配せずに行きたい学校で学び、医療が必要な時は誰でも受診できる、そんな環境をつくれる政府めざし、投票に行きたいものです。

本会の活動も、期待に沿って引き続きがんばりましょう。



### Gさん

市立の保育園で、毎日子どもとお母さんたちと接しています。今日、畔上さんのお話を聴いて、もっと、行政に訴えていかなあかな〜と思いました。それから、明石市では、広く関係者への研修をされている、こういうことも要請していきたいと思いました。

### NPO Dさん

学習支援のNPOを立ち上げている。ただ、行政の支援のあり方など、わかっていない市民が多い。そんな中では、窓口業務が大変。親や関係者に広報すること。知らせていく事が大事だ。

### DVに関連して

22歳で150cm・体重35Kg。そんな女性が窓口に来られたとき、明石市なら追い帰しますか？ 大阪市の生活保護は、紙申請のみ、実態を聞くこともせず、若いシングルママが撲殺される事件も発生している。

公共の福祉の拠点が地方自治体であることを痛感した総会でした。万博・IR・カジノ→スマートシティへと、巨額の税金をざぶざぶつぎ込む大阪市。政治的に闘うことなしに、子どもの貧困がなくなるわけありません。学習・要請・行動の年にしましょう。

維新政治の14年間で大阪府民の所得が大幅に減ったというデータ。「成長を止めるな！」と言いながら、府民の成長を止め、盛っても盛っても沈む夢洲に山土ほり込んで、もつぱら土建屋を儲けさせてきた。そして、万博大赤字。大阪市民の税金でつけ払いはいけません！

## 維新府政で府民所得マイナス幅は全国ワースト2 全県平均より27.9万円も低く [全国7位→18位]

### 1人あたり県民所得

2007年度		2021年度	
1 東京都	587.1	1 東京都	576.1
2 愛知県	386.1	2 愛知県	359.7
3 静岡県	342.3	3 茨城県	343.8
4 福井県	335.2		全県平均 333.0
5 神奈川県	327.9	4 静岡県	331.4
6 三重県	326.7	5 栃木県	330.7
7 大阪府	323.9	6 富山県	329.1
	全県平均 323.5	7 福井県	326.3
8 栃木県	323.1	8 山梨県	324.3
9 富山県	322.6	9 徳島県	320.2
10 滋賀県	318.0	10 神奈川県	319.9
11 広島県	316.6	11 群馬県	318.7
12 千葉県	304.3	12 広島県	317.9
13 茨城県	296.1	13 滋賀県	316.1
14 京都府	295.0	14 三重県	311.1
15 山口県	293.2	15 岐阜県	309.2
16 埼玉県	292.1	16 和歌山県	308.4
17 群馬県	291.7	17 千葉県	305.9
18 石川県	288.3	18 大阪府	305.1

18.8万円減  
(5.8%減)

【出所】内閣府「県民経済計算」から全国上位18位（単位：万円）